

わたしは いま 子どもたちを守りたい。
ネットワークから生まれるアクションで子どもたちの未来を守る。

nrgrp r }hqnrnx1frp

2015年度 活動報告書

特定非営利活動法人 子ども全国ネット

ご支援くださっているみなさまへ

～これからも「人が動き、人と出会う」ために～

いつも子ども全国ネットにご支援ご協力いただき、ありがとうございます。「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」は、2011年7月のスタート以来、多くの方々、団体からのご寄付に支えられ、助成を得て、活動してきました。2014年1月に法人化、「NPO法人子ども全国ネット」としてネットワークを運営し、活動の基盤強化と支援事業の展開をめざして活動しています。

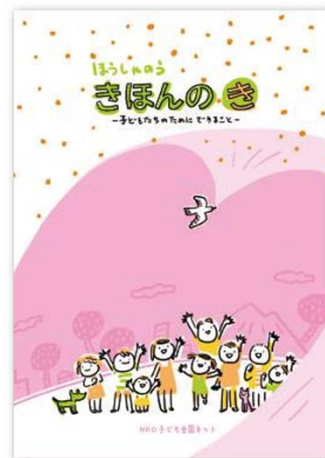
昨年度も、ネットワークミーティング、地域ミーティング、学びカフェなど、人と出会う場づくりを続けました。そこでは、それぞれの動きや成果、課題を共有し、さらに人が動くことにつながるよう、その後の有機的なつながりを大切にしてきました。そのための、交通費、会場費など「人と出会い、次のアクションに結びつく」ための活動を支える予算は、みなさまのご寄付です。普段、ネット上でしか交流できない各地の団体をつなげ、子どもたちのために粘り強く活動する力の元は、みなさまに支えられています。

福島第一原発事故から5年半が経ちました。被ばくによる影響は、福島県の子どもたちを中心に、東北～関東で懸念され、取組みが続いています。市民による甲状腺検査や土壌・食品の測定、保養への支援、自治体への地道な交渉など、各地の団体からの報告に、今もふんばり続けるたくさんの顔が浮かびます。次々と進められる帰還政策や来年3月に迫った住宅支援解除、増える一方の小児甲状腺がんなど、懸念はたくさんありますが、1つ1つを積み重ねていく先に、子どもたちの未来への希望を手渡したいと思います。

今後ともご支援よろしくお願いたします。

特定非営利活動法人 子ども全国ネット
代表理事 伊藤恵美子

冊子「ほうしゃのう きほんのき」完成!



★冊子「きほんのき」は1冊100円で頒布しています。郵送ご希望の方は、下記「きほんのき」ホームページからお申込みください。



〈頒布価格〉1冊100円

子ども全国ネットのイベントなどで頒布しています。

〈郵送ご希望の場合〉

10冊(1000円)より10冊単位でお申込みいただけます。

EX)10冊(1000円)、20冊(2000円)、30冊(3000円)

50冊以上の場合は1冊80円(20%引き)になります。

EX)50冊(4000円)、70冊(5600円)、100冊(8000円)

※全て送料込みの金額です。



ほうしゃのうのきほんとその対策を、専門家の先生方の監修のもと制作しました。可愛いイラストと簡潔な説明で、始めての方にわかりやすく、すぐ役にたつ内容です。



きほんのき ホームページオープン!

「きほんのき」ホームページでは、冊子の内容の他に、放射能から子どもを守るためのお役立ちリンクを随時更新しています。冊子のPDFダウンロードもできます。ぜひご利用ください。

311kihonnoki 検索

【子ども全国ネットについて】

「放射能から子どもたちを守る全国ネットワーク(子ども全国ネット)」は2011年3月の福島原発事故のあと、「子どもたちを放射能から守ろう」と全国で立ち上がった団体がつらなるネットワークです。(350団体が登録)

子ども全国ネットのホームページ「情報ブログ」では、放射能に関する最新のニュースや、各地の団体情報を発信しています。



子ども全国ネット 検索

ご寄付・ご支援
のお願い

★みなさまの幅広いご支援・スポンサーシップによって支えられています。

【寄付口座】

賛助会員・賛助団体も
募集中!詳しくはHP
をご覧ください。

- ゆうちょ銀行(郵便振替)
記号00130 番号5290893
特定非営利活動法人子ども全国ネット
- 城南信用金庫 九段支店
普通口座 口座番号328959
特定非営利活動法人子ども全国ネット

「放射能から子どもたちを守る全国ネットワーク」の運営は、「NPO法人子ども全国ネット」が担っています。みなさまの暖かいご支援・ご寄付をお願いいたします。

NPO法人 子ども全国ネット
東京都千代田猿樂町2-2-3 NSビル2F
Email: info@kodomozenkoku.com



NPO法人子ども全国ネットは、「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」のネットワークの運営を中心に、ネットワーク内外の情報発信活動や連携活動、広報事業を担っています。

<賛助会員・賛助団体でご支援>

子ども全国ネットの活動に賛同し、継続的にご支援頂く会員です。

入会金なし・年会費 1口10,000円(1口以上)

会員特典として、各種イベントや講演会などの参加費割引や会員限定イベントへの招待、会員限定のアーカイブ公開をします。

◆お申し込み方法

- ①子ども全国ネットホームページのお申し込みフォームからお申し込みください。
- ②会費お振込案内のメールをご確認頂き、会費をご送金ください。
- ③会費入金確認をもって、会員登録とさせていただきます。

<郵便振替・銀行振込で寄付>

◆郵便振替

通信欄に「寄付・カンパ」とご記入いただいた上、お名前、ご住所を正確にご記入ください。お礼のカードを郵送で送らせて頂きます。

・郵便振替 00130-5-290893 子ども全国ネット

◆銀行振込

info@kodomozenkoku.comまでメールにて寄付お振込みの旨とお名前、ご住所をご連絡ください。お礼カードを郵送で送らせて頂きます。

・ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行からお振込みの場合)
記号00130 番号5290893 特定非営利活動法人子ども全国ネット

・ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行以外からお振込みの場合)
店名: 〇一九(ゼロイチキュー)
当座預金 口座番号: 0290893 特定非営利活動法人子ども全国ネット

・城南信用金庫 九段支店
普通口座 口座番号 328959 特定非営利活動法人子ども全国ネット

※領収書の必要な方、又はご不明な点につきましては、
info@kodomozenkoku.comまでメールにてご連絡ください。

◆2015年度の活動内容

1. ネットワーク事業

登録団体の情報共有、広報活動などの協力のほか、各地域でのミーティングを行い、ネットワークを活かした活動に取り組みました。

2. 広報・情報発信事業

子ども全国ネットのネットワーク団体の活動をはじめ、各地の測定所や保養支援団体、連携する各NGOの活動情報と、メディアにも掲載されない希少な情報をHPやSNS、メルマガやチラシ、キャンペーン等で発信しました。また、初心者にも分かりやすく工夫した小冊子「ほうしゃのう きほんのき」を編集・発行しました。

3. 連携活動・情報共有

他のNGO・NPOと緩やかな連携を図り、有機的・効果的に活動を進めました。

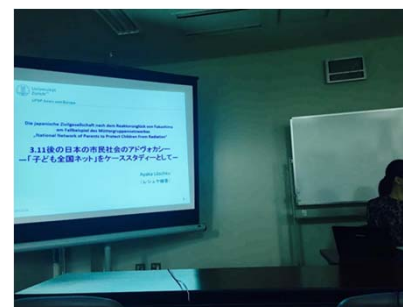
年1回の総会、年3回の理事会、月1回開催の運営チームによる定例会、計34回の事務局ミーティングで、日々の活動や各事業のPDCAを確認し、実直な活動に徹しました。



子ども・被災者支援法制定3周年@上智大



市民による甲状腺エコー検査の見学@松戸市



「子ども全国ネット」が研究テーマに@神戸大



東日本土壌測定プロジェクト報告会@慶応大



2016年3月11日 地域ミーティング@東京



ある日の定例会風景@事務所

◆ネットワークミーティング2015「関東の汚染を考える」 ～地方政治を動かすお母さんたち～ 2015.7.11

テーマ	子ども全国ネット4周年ネットワークミーティング「関東の汚染を考える」		
日時	2015年7月11日(土) 10:15～13:15	場所	オリンピックセンター
登壇者	白石草さん他、10名の報告者	出席者	63名 (うち、登壇者11名、スタッフ10名)

内 容	
スケジュール(プログラム等)	
10:30～	開会 子ども全国ネットより
10:45～	1都6県各地からの報告 Part 1 山田ゆう子さん(埼玉県/越谷市議会議員)、黒岩勢津子さん(群馬県/子どもたちを放射能から守る草木の会)、瀬田美樹さん(東京都/世田谷こども守る会)、長谷川くみこさん(神奈川県/こどもももりたい[相模原市])、岩間綾子さん(栃木県/とちの実保業応援団/原発・放射能から子供を守る会・塩谷)、中井ゆみ子さん(千葉県/我孫子の子どもたちを放射能汚染から守る会/放射能からこどもを守る関東ネット)、渡辺愛子さん(茨城県/常総市の子ども達を守る会/放射能からこどもを守る関東ネット)
13:05～	1都6県各地からの報告 Part 2 稲垣芳さん(関東子ども健康調査支援基金)、石丸偉丈さん(こどもみらい測定所/みんなのデータサイト)
14:05～	OurPlanetIV 代表 白石草さんより
14:35～	シェアタイム
16:00	閉会

概要
 昨年に引き続き「関東の汚染」を取りあげたのは、オリンピックを控え、ますます隠されていく首都圏の汚染と、汚染された地域の在住者数が多い関東で声をあげる意義を考えたからだ。原発事故から4年たった今も各地域で、行政や議会に働きかけながら、被ばくを減らし子どもたちを守るための対応を引き出している団体や母親たちの行動をいくつもあつめた。1都6県からの報告を組み込んだ。

2015.7.11
 子ども全国ネット4周年
 ネットワークミーティング
<http://kodomozenkoku.com/>

4年前、各地で汚染を心配したお母さんたち。その気持が広く響いてきました。ますます身近に感じてきています。関東地域の汚染や健康に對して、お母さんたちの思いを共有して、ヒントや良策を共有しようとお母さん、子どもを守りたい思いをもつお母さん、ぜひご参加ください。

日 時：2015年7月11日(土) 10:30～16:00
 場 所：東京オリンピック国際青少年会議センター
 (東京都港区)1F イベントホール
 (東京都港区)1F イベントホール
 (東京都港区)1F イベントホール
 参加費：500円(子どもスペース別)

10人の方から話題提供。1都6県からの報告には、自治体に向けて取り組むべきことに関するヒントがたくさんあった。また、基本は、“人”対“人”であるということ、行政担当者に対して、議員に対して大事にしているという点が皆さん共通していることだった。そうした信頼関係の上に、ゆっくりでも着実に1つずつ築きながら、対応を引き出している報告が今回多く、そうした積み重ねが何かしらの成果に結びついていると言えよう。

また、稲垣さん(関東子ども健康調査支援基金)や石丸さん(こどもみらい測定所/みんなのデータサイト)の報告からは、ぜひこの関東で広く呼びかけて取り組みたい提案が具体的に示された。甲状腺検査も、土壌測定も、4年たった今だからこそ欠かせない取組みだと考える。

書式第9号(法第10条・第25条関係)

平成27年度 活動計算書		平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	
特定非営利活動法人子ども全国ネット			
(単位:円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	70,000		
賛助会員受取会費	0		
		70,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	1,121,037		
施設等受入評価益			
		1,121,037	
3 受取助成金等			
受取助成金	1,560,000		
		1,560,000	
4 事業収益			
事業収益	0		
5 その他収益			
雑収	54,000		
受取利息	143		
		54,143	
経常収益計			2,805,180
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	530,000		
人件費計	530,000		
(2)その他経費			
印刷製本費	23,850		
賃借料	80,600		
諸会費	15,000		
諸謝金	138,624		
旅費交通費	366,759		
消耗品費	7,997		
通信運搬費	9,895		
会議費	6,160		
業務委託費	619,410		
その他経費計	1,268,295		
事業費計		1,798,295	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	480,000		
人件費計	480,000		
(2)その他経費			
印刷製本費	3,952		
旅費交通費	21,139		
消耗品費	1,922		
地代家賃	360,000		
通信運搬費	45,924		
会議費	1,810		
業務委託費	21,480		
支払手数料	658		
その他経費計	456,885		
管理費計		936,885	
経常費用計			2,735,180
当期経常増減額			70,000
III 経常外収益	0		
経常外収益計	0		
IV 経常外費用	0		
経常外費用計	0		
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税及び事業税			
前期繰越正味財産額			1,596,000
次期繰越正味財産額			1,666,000

◆地域ミーティング〈東京〉 2016.3.11

テーマ	地域ミーティング東京 「もう5年？ まだ5年？ 今だから観たい Short movies！」 ～ 観て 話して ここから始める ～		
日時	2016年3月11日（金）10:15～15:00		
場所	神保町区民館2F会議室 AB	出席者	31名

内容

スケジュール

- 10:15～ あいさつ
- 10:30～ Short Movies（映像視聴）
- 11:50～ 昼食休憩
- 12:40～ ワールドカフェ
「東京あるいは首都圏」「5年のいま気になること」「ここから何を」をキーワードに話そう
- 14:40～ 子ども全国ネットより

概要

〈Short Movies〉

OurPlanetTV 提供の映像と、子ども全国ネットが選んだ映像2本を視聴。
 「100人の母たち」JNNドキュメンタリー九州放送
 「つながる力 ～関西ミーティング編～」カノンだより vol.4より
 「福島原発事故5年 ～置き去りにされた子どもたち～」 OurPlanetTV 提供

〈ワールドカフェ〉

原発事故後、これまでの5年間取り組んできたことを改めて見つめ直す機会となった。今後求められる活動、新たに取り組むべき課題などについて、活発な意見交換が行われた。参加者からは、今後の活動を頑張っていこうという元気をもらったなど、前向きな感想が多く寄せられた。

3.11 子ども全国ネット開催ミーティング
 「もう5年？ まだ5年？
 今だから観たい Short movies！」
 ～観て 話して ここから始める～

2016年3月11日（金）10:15～15:00（15:00開演）
 会場：神保町区民館2F 会議室 AB（神保町区民館内）
 〒100-0002 東京都千代田区神保町1-1-1
 入場料：200円
 主催：NPO法人子ども全国ネット
 協賛：NPO法人子ども全国ネット 事務局



白石さんからは、チェルノブイリの現状の取材(ウクライナ)を踏まえ、とくに保養の実態についての説明や、子ども・被災者支援法については、ちょうど前日に、「被災者生活支援等施策の推進に関する基本的な方針の改定(案)」が出したが、ほとんど実効性のない内容に唖然とした話が出された。やはり当事者が声をあげてくれることが必要で、2000万人くらい被ばくしていると思えば、差別も偏見もないはず、という話に、関東ほど人口の多い地域が汚染されたという前例のない事態を俯瞰で見る必要性を感じさせられた。

また、親など子どもの周囲にいる人が体調等をモニタリングすることが大事。「やっぱり変かもしれない」と気づきを見逃さないこと、風邪が長引きすぎるといった症状が最初の気づきだったりと指摘は、あらためて親をはじめ、子どもの傍らにいる大人がどれだけ考えられるかが問われていると思う。養護の先生の間にも被ばく問題に取り組む人がいるとのこと、東北関東の保健室の先生に広がって、保護者と結びつければ、と思う。



質疑応答のあと、6つのグループで感想シェアと意見交換の時間をもち、各グループからの発表を行った。「食のこと、土のこと、正しい数値を知り、自分で判断したい」「話し合っていくこと、違う意見も認めるといこと、それが議員さんに自分たちの思いを届けるためには大事じゃないか」などの意見が出された。



アンケートの内容も、概ね評価が高かった。参加したい人が参加できるように、告知を早めにしてほしいとの声があった。来年への課題としたい。こうして顔を合わせて、直に話を聞き合い、意見を聞き合うことで、ヒントも励ましも勇気も得ることができる。やはり、こうしたミーティングの機会というのは(予算もかかるのでなかなか大変ではあるが)、なるべく実施すべく努めたいと思う。

◆学びカフェ1 2015.10.28

テーマ	学びカフェ連続講座2015第1回 まもなく5年。チェルノブイリから読み解く福島 ～子どもたちの「これから」をまもるために～		
日時	2015年10月28日(水) 10:15～13:15	場所	万世橋区民会館(千代田区)
講師	振津かつみ 内科医、兵庫医科大学講師	出席者	32名 (うち、スタッフ8名)

内容

スケジュール(プログラム等)

10:15～ 開会 子ども全国ネットより
10:30～ 振津かつみ先生より話題提供(60分)
11:30～ カフェタイム(グループに分かれて話し合い・50分)
12:20～ シェアタイム(感想、振津先生への質問)
13:15 閉会

概要

振津先生が、長年携わってきた原爆被爆者の健康管理、24年間通っているチェルノブイリ原発事故の被災者支援活動、毎月福島を訪れて健康相談を行っている経験からの話題提供。ベラルーシでどのような検査や制度がなされているかや健康影響について、福島の様子など、具体的な話を聞くことができた。その後のカフェタイムでは、チェルノブイリと福島の違いや共通点、被爆者手帳の制度など、話題提供の内容から学び、これから何ができるかということについて、参加者それぞれが考え行動する問題提起の場となった。



<アンケートより>

実際にベラルーシ、ロシア、福島を見ての話は説得力があった。/チェルノブイリと福島との比較がわかりやすかった。/カフェタイムではいろいろな話ができて良かった。/時間が足りない。(同様のご意見多数)



◆地域ミーティング<福島県白河市> 2016.3.7.

テーマ	地域ミーティング福島県白河市
日時	2016年3月7日(月) 10:30～16:00
訪問先	①mamaたちの小さなお茶会(白河市高山コミュニティーセンター) ②子育て広場「たんぼぼサロン」訪問

内容

スケジュール

10:30～14:30 mamaたちの小さなお茶会
15:00～16:00 子育て広場「たんぼぼサロン」訪問

概要

白河市で暮らす、子育て中の人たちが集まり、普段家族や友人たちに話せない心の内を共有しあう機会として開催。

「那須塩原放射能から子どもを守る会」からの参加者もあり、活動状況について隣接する地域同士の情報交換や課題共有を行った。

保養について、これまで参加したことがある保養の様子や、受け入れ状況などを一人一人発表。保養では、受け入れ側、参加する側、それぞれに課題があることが確認された。

参加者の話から、放射能による健康影響の心配と共に、友人や家族などから共感を得られないことに対する不安や心配が大きいことが感じられた。



<mamaたちの小さなお茶会参加者の声>

「本当に保養が必要な人へ情報や機会が行き渡ってないと感じる。」
「普段話することができない心配や不安を話して共感してもらえて良かった。」
「汚染状況重点調査地域として指定されている地域で生活、子育てを続けることは大変。見ないことになって生活するしかない人たちもいる。」

<子育て広場「たんぼぼサロン」>

親子が集う場所だからこそ、震災以降の苦悩や、放射能から子どもを守るための計らいを代表の永野美代子さんより伺う。

◆地域ミーティング塩谷町 2016.2.16

テーマ	地域ミーティング栃木県塩谷町 指定廃棄物最終処分場候補地に選定され、町ぐるみで処分場に反対している塩谷町の取り組みを知る。処分場候補地の見学。		
日時	2016年2月16日(火)	参加人数	15人
訪問先	塩谷町役場。処分場候補地。		

内容

スケジュール	10:30～ 処分場候補地 現地視察 12:00～ 昼食休憩 13:00～ ミーティング メンバー紹介 13:05～ 1、子ども全国ネットから(25分) 子ども全国ネットの活動紹介 関東における健診、保養などの実施状況 13:30～ 2、塩谷町からの報告(90分) 15:00～ 3、質疑応答と意見交換 (土壌測定の意義と東日本土壌ベクレル測定プロジェクトの現状など) 16:00 終了
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

概要

〈現地視察〉

- ・指定廃棄物最終処分場候補地の視察。
2015年夏の増水の際の様子について説明を受ける。実際に足を運ぶことで、地形や市街地からの距離などを実感することができた。
- ・全国名水百選の認定を受けた「尚仁沢湧水」の見学。



〈情報交換〉

- ・子ども全国ネットの取組みについて紹介。
栃木県内で活動する6団体に加え、塩谷町町長、塩谷町役場職員の方にも、子ども全国ネットの取り組みについて知っていただく良い機会となった。
- ・「放射能から子供を守る会塩谷」代表大山氏より、処分場問題について、候補地の選定や問題点について説明。
- ・土壌測定について、子ども未来測定所石丸氏より、「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」について紹介



◆学びカフェ2 2015.11.17

テーマ	学びカフェ連続講座2015第2回 原発事故をめぐることば ～これから必要な「言葉を見抜く」技～		
日時	2015年11月17日(水) 10:15～13:15	場所	神保町区民会館2F(千代田区)
講師	影浦 峽 東京大学大学院教育学研究科教授	出席者	34名 (うち、スタッフ 5名)

内容

スケジュール(プログラム等)

10:15～	開会 子ども全国ネットより
10:30～	影浦 峽先生より話題提供(60分)
11:30～	ワークショップ(グループに分かれて話し合い・50分)
12:20～	シェアタイム(各グループからの発表、影浦先生への質問)
13:15	閉会

概要

原発事故や、被ばく、甲状腺健診などに関連する報道を見ると、伝える側の言葉の選び方によって、受け取る側の印象が大きく変わること気づく。また、同じ報道を見ても、受け取る側が持っている情報、「見抜く力」の違いによって、受け取る印象が変わってしまう。この、「見抜く力」を鍛えるためにはどうすれば良いか、事例を上げて影浦先生から話題提供していただいた。

事故当時から報道を振り返りながら、それを評価する影浦先生の話に、涙する参加者も。それほど、信じられないような報道が繰り返されてきた。先生のお話の後半は、言葉の分析方法についての説明で、かなり普段とはちがう技術を要するが、非常に興味深い内容で、参加者も熱心にメモを取る姿がみられた。

その後、話題提供を受けて、実際の新聞記事を使ってワークショップを行った。福島現状を、筆者の一方的な評価を押しつけるような文章に対して、違和感をもち、そのことで批判をすることは簡単にできるが、どういった言葉の使い方の誤りがあるのかを、1つ1つ丁寧に分析することで、自分の違和感が真実であることを実感でき、胸のすくような体験をすることができた。



◆学びカフェ3 2015.12.6

テーマ	学びカフェ連続講座2015第3回 福島で放射能を測定するという事 ～β線ラボ・独自検診からみてきたこれから～		
日時	2015年12月6日(日) 10:15～13:15	場所	シャンドウソレイユ(千代田区)
講師	鈴木薫 いわき放射能市民測定室 たらちね事務局長	出席者	36名 (うち、スタッフ 5名)

内 容

スケジュール(プログラム等)

- 10:15～ 開会 子ども全国ネットより
- 10:30～ 鈴木薫さんより話題提供(60分)
- 11:30～ カフェタイム(グループに分かれて話し合い・50分)
- 12:20～ シェアタイム(各グループからの発表、感想、質問)
- 13:15 閉会

概要

原発事故後、いわき市に市民測定所を立ち上げ、放射性物質の測定、甲状腺エコー検査、保養の送り出しなどの事業を続けているたらちね代表の鈴木薫さんから、測定所の取り組み、いわき市の現状、測定や健診の状況についてお話を伺った。

いわき市では市民みずから(しかもスタッフは女性のみ)が中心となり、この市民測定所が立ちあがり、多くの専門家の協力が得られる中で、また、たくさんの寄付を集めながら、専門機関でも取り組んでいないような測定にも精力的に取り組んでいる。この測定所の取り組みによって、判明した汚染状況なども多い。

今回の話では、関東からは見えない、福島県内の住民の状況なども知ることができた。参加者の多くも、現地からの生の報告に、真剣に聞き入っていたように思う。各地で測定や検診に取り組む団体(宮城・茨城・群馬・千葉・東京)への参加依頼を事前していたこともあり、各地の現状や課題が報告され、大変有意義な場となった。



<アンケートより>

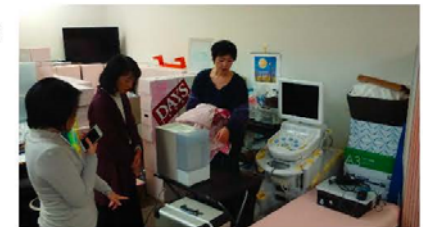
実際にベラルーシ、ロシア、福島を見ての話は説得力があった。/チェルノブイリと福島との比較がわかりやすかった。/カフェタイムではいろいろな話ができ良かった。/時間が足りない。(同様のご意見多数)

◆地域ミーティング<福島県いわき市,郡山市 2015.11.25

テーマ	地域ミーティング福島 いわき市、郡山市で活動している方々との課題共有と情報交換
日時	平成27年11月25日(水)
訪問先	①いわき放射能市民測定室 たらちね 事務局長 鈴木薫さん ②しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島 理事長 遠野馨さん、理事 鈴木幸子さん ③郡山市元気な遊びのひろば PEPkidsKoriyama 見学 ④かふえぶらす郡山 横田麻美さん ⑤はっぴーあいらんど 鈴木真理さん TEAM ママベク子どもの環境守り隊 千葉由美さん

内 容

- ① いわき放射能市民測定室たらちね
事務局長 鈴木薫さん
測定室、β線ラボの見学。たらちねのこれまでの取り組み、今後の活動について。
海水に含まれるβ線の測定。ダストサンプリング。甲状腺検査。保養への送り出し。
12月に行う学びカフェの打ち合わせ。
- ② しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島
理事長 遠野馨さん、理事 鈴木幸子さん
普段の活動、保養の取り組みについて。
母子家庭の子ども向けに、毎年保養を行っている。
- ③ 郡山市元気な遊びのひろば PEPkidsKoriyama 見学。
利用状況のヒアリング。
- ④ かふえぶらす郡山 横田麻美さん
活動状況、保養相談会の取り組みについて。
- ⑤ はっぴーあいらんど 鈴木真理さん
TEAM ママベク子どもの環境守り隊 千葉由美さん
「はっぴーあいらんどふえすていばる」について。
避難した仲間たちが戻ってきて平和を確認する。
個にならない。
TEAM ママベクでは、測定を続けている。
ママカフェを開催し、話せる場づくり。



一日で福島県いわき市と郡山市の団体を訪ねるという限られた時間ではあったが、直接顔を合わせて話すことで、率直に意見・情報の交換と、現状の課題を共有することができた。

原発事故後から継続している、測定データの積み重ね、イベント、保養など継続して活動することの厳しさとともに重要性を再確認した。福島県内でも、地域によって事情や取り組みが様々である。寄付を募ったり、助成金を申請したりなど、活動を継続していくための取り組みや、今後の課題についても伺う。